

議会
だより

ふくしま

第144号

令和6年12月1日発行
福島町議会

(題字：福島中学校 3年 中塚 心優さん)

みんなのお金は どう使われた？

決算審査特別委員会

議会HP



ここがききたい！

● 一般質問 (9月会議)

3
ページ

様々な案件を調査しました

● 常任委員会レポート

18
ページ

連載記事～初の無投票・定数割れ

● 3年後の立候補者へ

26
ページ

ふくしま

3年 中村 柊太さん

ふくしま ふくしま

3年 福田みずきさん

3年 安田 華さん

吉岡温泉の騒音、煙・臭い 対策費用2,600万円を補正

定例会9月会議は9月18日に開会、議案10件、報告3件、認定7件、同意1件、意見書1件について審議し、いずれも原案の通り可決、同意し、20日に休会しました。参画者は2名でした。

詳しい資料はこちら



町議会定例会

9月会議

条例の一部改正

・職員の分限手続・効果条例の一部改正。

規約の変更

・北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更。

計画の変更

第6次総合計画の変更

事業内容の変更により、計画の一部を変更。(青少年交流センター増築に伴う備品購入、吉岡温泉の騒音、煙・臭い対策工事)

(千円)

区分	総事業費
変更前	4,691,100
変更	46,000
変更後	4,737,100

委員会の任命

教育委員会委員

成田倫与氏の任命に同意。(再任)

補正予算

令和6年度一般会計補正予算(第4号)

予防費

新型コロナウイルススワクチンの予防接種委託料の増額。

618万3千円追加

吉岡温泉整備事業費

吉岡温泉の防音・排煙等対策工事請負費の追加。

2千600万円追加

道路維持費

町道川原町汐見町線整備工事請負費の追加。

2千550万円追加

教育委員会費

青少年交流センター増築に伴う管理備品購入費の追加。

1千864万円追加

(千円)

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計(第4号)	149,546	4,616,384
国民健康保険特別会計(第2号)	7,755	694,188
介護保険特別会計(第2号)	33,253	597,015
後期高齢者医療特別会計(第1号)	▲2,910	79,145
国民健康保険診療所特別会計(第1号)	▲235	122,262
水道事業会計(第1号)	▲163	108,249
浄化槽特別会計(第2号)	1,345	47,203

議会からの提出議案

意見書の提出

国土強靱化に資する社会資本整備に関する意見書

一般質問



9月会議では3人の議員から3件の質問がありました。

【一般質問】町の色々な課題等について、議員が町長等に対して質問や提案をすることです。



藤山 大議員

動画は
こちら



教育

問

ファミリースポーツ公園の
芝の適切な管理を

答

計画的な芝の張り替えを行う

藤山 大議員

ファミリースポーツ公園は、広く町民から利用されており、人と人が繋がる大切な場になっております。

しかし、最近の温暖化による影響を受け、芝の枯れや、一部破損がみられ、利用にあたって支障をきたす状況になっておりますので、次の点について教育長に伺います。

1. 芝の一部貼り替えの考えは？
2. 公園管理建物に冷房整備の考えは？

小野寺教育長

1. 昨年、高気温が続いた影響が大きく、特にグリーン等の芝の剥離が進行していることから、利用者が快適にプレーできるよう、グリーン芝の張り替えを計画的に行うなど、適切な維持管理に努めて行きます。
2. 屋外競技施設であることから、エアコンの設置は考えておらず、現状どおり自然換気と扇風機で対応していきます。

税

問

子どもの国保税均等割免除を

答

税の公平性の観点から全額
免除は考えていない

動画は
こちら



木村 隆議員

木村 隆議員

国民健康保険税制度には扶養の概念がなく、加入者全員が負担する均等割りは所得のない子どもであっても納めなければなりません。国は就学前の子どもの均等割を半額に軽減する仕組みを導入しましたが、根本的解決にはなっていません。

国保税が北海道統一化を目指す令和12年まで暫定的な当町の施策として国保事業基金を使用し子どもの均等割を免除できませんか。

鳴海町長

国保税は現在、所得割、均等割、平等割の3方式で課税しており、未就学児の均等割5割軽減措置を実施しております。

また、町は独自の子育て支援施策として、高校生までの医療費や給食費の無料化などを実施し、保護者の負担軽減を図っています。

基金を使用して子どもの均等割りを免除できないかとのことですが、広域化・税の公平性の観点から制度の趣旨にそぐわないと考えており、全額免除は考えておりません。



防災

問 当町の防災、減災対策は

答 津波避難計画の基礎調査をもとに、今後見直しを進める



熊野 茂夫議員

動画は
こちら



熊野 茂夫議員

近年の日本の気象環境は、地球温暖化による異常気象状態にあり、50年、100年に一度の大雨が発生している。また、日本各地でも大型地震の発生が予測され、地震発生時に当町には4メートルを超える津波が20分ほどで到達するとされています。このような状況下で当町においてはきめ細やかな防災、減災対策が急務と考えますが以下の点について町長に伺います。

1. 河川氾濫や地滑りによる災害発生予測調査や発生時の対応は？
2. 津波警報発令時における各地域の避難路の設定と場所は？
3. 避難場所の構築物と緊急物資準備、保管と電源の確保は？
4. 地震、津波での道路破損、建物倒壊や水道管破損等への対応は？
5. 災害復興と町民支援のための基金の準備は？



鳴海町長

1. 町独自の調査は実施していませんが、国・道で調査を行っており、その調査を基に工事を進めている。

また、災害発生が想定される場合は、国等の情報を注視しながら職員・消防署員でパトロールを実施しています。

災害発生時には、速やかに災害対策本部を設置、各関係機関と連携を図りながら、迅速な対応に努めています。

2. 町内の高台を中心に35カ所の津波一時避難場所を設定し、そこに通じる経路を避難路としておりますが、現在、津波避難計画策定に向けた基礎調査を実施しており、今後これらに基づき避難路等の見直しを進めて行きます。

3. 災害時の緊急物資等は役場裏の備蓄倉庫・吉岡支所に一括保管しております。今後、津波避難計画の中で、指定している津波一時避難場所に構築物を検討してまいります。

電源の確保については、各町内会館にポータブルガス発電機を配備し、役場・吉岡支所等の指定避難場所には非常用電源を整備しております。

4. 国・道と連携しながら迅速な対応に心がけており、万が一災害が発生した際は、迅速かつスピード感を持って、復旧・復興に努めていきます。

5. 現時点であえて目的基金を設置する考えは持っておりません。

追跡調査 🔍 ①

平沼 昌平 議員 (R6.3.11)

花田俊勝奨学金については、親が福島町に在住していないと該当しないが、今後高校に町外から多くの子ども達が入ってくる中で、**このままの奨学金で良いのかという懸念が残る**。考えを伺いたい。

議会のコトバ

追跡調査 (議会一般質問等答弁事項進捗状況調査)

一般質問、議案に対する町長・副町長・教育長の**答弁後の対応を調査して公表することで、町民への説明責任を果たすことが目的**です。「検討します」や「見直します」等の答弁があった時に議会運営委員会で追跡調査するか検討し、対応しています。

小野寺 教育長 (R6.3.11)

今後、ニーズを十分踏まえ改正が必要であれば、広くという風になると思う。しかし、奨学金は親が返している場合が多く、親が町内にいないのは、非常に課題になると思うので、教育委員会で慎重に**検討していきたい**と思っている。

小野寺 教育長 (R6.6.20)

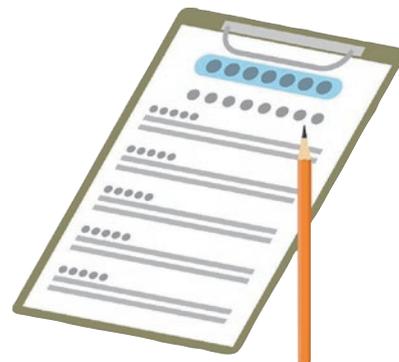
今後の教育委員会議等で、**検討を行っていく予定**。

なお、定住に結び付けるための制度や新たな支援策については、厳しい財政状況に鑑み、関係部署や議会と議論を深めていかなければならないと認識している。

調査結果

小野寺 教育長 (R6.9.18現在)

これまでの教育委員会での協議を踏まえ、**9月11日開催の教育委員会議で、教育委員との最終検討を行い、教育委員会としての考えを決定する予定**。



総務教育常任委員会 (R6.10.4開催)

…9月11日開催の教育委員会議における奨学金制度の見直しに対する最終検討結果…次の意見等により、**現状では奨学金制度見直しの必要性がないものとの結論を受け、教育委員会としては、現制度を維持する**との考えが示されました。

1. 給付型は選定が困難で不公平感が生じる
2. 現制度でも無利子貸付など十分支援できている
3. 保証人が町内在住でないと償還対応が困難となる

当追跡調査は定例会12会議において最終報告を受け終了する見込みです。

令和5年度 決算審査特別委員会

委員長 平野 隆雄

9月19日、20日の2日間にわたって令和5年度会計の決算審査特別委員会が行われ、5つの特別会計・水道事業会計を含む総額78億円の決算を認定しました。

一般会計の歳出額は62億7千279万円で、前年度に比べ13億9千678万円（28.65%）増となりました。歳入額は64億329万円で、前年度に比べ13億9千989万円（27.98%）増となりました。なお、財政調整基金の残高は13億4千872万円で、前年度に比べ487万円減となりました。

※金額は四捨五入表示。

※質疑・応答は、第5次総合計画のまちづくり項目の順番で要約し、抜粋を掲載しています。



平野 隆雄
決算審査特別委員長

産業の再生による雇用の創出、次世代を担うリーダー等の育成

●水産、水産加工業

問

アワビ養殖に使用する海水温度の上昇が見込まれるため、冷却装置を設置してみてはどうか。

（小鹿昭義議員）

答

養殖の仕組みの変更や海水の循環を早くするなどの対策を行っております。

今後必要となる可能性もありますが、現状では考えておりません。

問

福島漁港に大量の木材を堆積していたが、漁港使用料は、徴収しているのか。

（杉村志朗議員）

答

森林組合が木材を町外へ搬出するために堆積していたのですが、予定していた船の手配が出来ず、陸送での運搬に切り替えております。

その期間の漁港使用料は徴収しております。

●林業

問

森林のJクレジットのトン数について、今後森林組合と話し合って方向性を決めていくのか。

（木村隆議員）

答

Jクレジットの当町の対象面積が町有林で433haあり、連携協定した北海道銀行とコンサルティング会社のバイウイールにシミュレーションして数値を求めていく方向です。

Jクレジットって何？

自社(町)のCO2排出削減量をクレジットとして他社と取引できる制度



当町は森林が豊富。CO2排出削減できない企業に貢献することができる。

町民の安心安全な暮らし がん予防対策の充実

●高齢者の福祉

問

高齢者冬の生活
支援事業の助成内
容について、この
物価高騰の中どう考えている
のか。

(平沼昌平議員)

答

冬の生活支援金
については、福祉
灯油として高齢者
非課税世帯に助成をしており
ました。物価高騰の中、近隣
町で増額をしている町もあり、
金額について、検討していき
たいと思っております。



豊かな環境と若者等 の定住対策・子育て 環境の充実

●防災

問

千軒地区の防災
無線の状態が悪い
問題が一向に解消
されない。

今後の見通しはどうなっ
ているのか。

(佐藤孝男議員)

答

役場から千軒地
区への電波が地理
的な問題で届かな
い状況であり、解決策として
は、光ケーブルで繋ぐのが一
番の方法だが、実施するため
には概算で6千万程度かかる
ため検討が必要。

防災無線の機器更新も迫っ
てきており、津波対策等の補
助金等を活用し財源確保して
対応できるように考えていきたい。

学びあい、たくまし い人を育てる

●学校教育、生涯学習

問

現在の町内小中
学校の生徒の基礎
学力について、ど
のような認識を持っている
のか。

(熊野茂夫議員)

答

現在の町内小中
学校生徒の基礎学
力については、上
がってきていると思います。
ただし、波があるとも思っ
ておりますが、昨年と比べてみ
ても小学生については全校平
均を上回っており、中学校に
ついては、全国平均より2ポ
イント下ではありますが、基
礎学力については、着実に上
がっていると思っております。

問

無形文化財の担
い手不足が深刻化
しております。将
来に向けてどのように考えて
いるのか。

(藤山大議員)

答

福島中学校では、
改めて福島の産業
と文化を学ぼうと
今年から取り組みを行って
おり、漁業や農業等、そして四
ヶ散米舞等も教えていただい
て、福中藝術祭で披露する等
今後も続けていきたいと思っ
ております。



福中藝術祭で四ヶ散米を披露する生徒

令和5年度各会計決算額

単位：千円

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引	
一 般 会 計		6,403,294	6,272,786	130,508	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	615,846	607,084	8,762	
	介 護 保 険 特 別 会 計	保 険 事 業 勘 定	561,288	525,915	35,373
		サ ー ビ ス 事 業 勘 定	1,338	1,338	0
	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	73,346	73,223	123	
	浄 化 槽 整 備 特 別 会 計	46,593	46,593	0	
	国 民 健 康 保 険 診 療 所 特 別 会 計	109,461	102,389	7,072	
水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 支	105,060	103,612	1,448	
	資 本 的 収 支	76,269	97,578	▲21,309	
計		7,992,495	7,830,518	161,977	

※水道事業会計の資本的収支における不足額については、補填財源により補填されております。

令和5年度 議会費の使い道

前年度より5,386千円の増額

単位：千円

区 分	令和4年度	令和5年度	主 な 使 い 道
報 酬	22,422	24,447	議員歳費24,242、委員等報酬205
給 料	11,725	13,425	事務局職員3名、会計年度任用職員1名
手 当 等	15,264	17,184	期末手当：議員10,117、職員7,067
共 済 費	12,947	12,088	議員6,614、職員5,474
報 償 費	0	0	専門的審査・調査謝金
旅 費	884	1,920	委員費用弁償21、普通旅費1,092、視察研修旅費509、職員旅費125、同行旅費173
交 際 費	170	211	祝儀40、接待26、土産14、後援20、協賛金28、会費48、香典5、供花11、負担8、見舞10、弔電1
需 用 費	1,039	1,003	消耗品費116、追録代11、購読料32、議会だより印刷製本費844
使 用 料 賃 借 料	1,273	1,271	インターネットサーバスペース使用料42、タブレット管理サービス使用料115、議会インターネット中継回線利用料124、ペーパーレス会議システム使用料990
備 購 入 品 費	381	0	科目廃止に伴う皆減
負 担 金 交 付 金	1,159	1,102	管内議長会等370、四町議員協議会154、議員公務災害補償組合負担金等62、政務活動費516
償 還 金 利 子	1,082	1,081	議会中継システム譲受代金年賦金1,081
合 計	68,346	73,732	※事務局職員、会計年度任用職員の給料等は「職員給与費」に計上されており、議会費の決算額と一致しません。

各議案の審議結果



9月会議採決の様子

- ・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案	議員名							審査結果	
			藤山 大	杉村 志朗	佐藤 孝男	小鹿 昭義	平沼 昌平	木村 隆	熊野 茂夫		平野 隆雄
9月会議 (9/18) ～ (9/20)	14	職員の分限手続・効果条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	15	第6次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17	令和6年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	18	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	20	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	令和6年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	22	令和6年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	23	令和6年度浄化槽事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定1	令和5年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 認定
	認定2	令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定3	令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定4	令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定5	令和5年度浄化槽整備特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定6	令和5年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定7	令和5年度水道事業会計利益の処分・決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	
	同意1	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
	報告4	一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告	採決はありません							報告済み	
	報告5	令和5年度財政健全化判断比率の報告									
	報告6	令和5年度教育事務の管理、執行状況の点検・評価報告									
	発委7	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の7月19日から11月15日までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「—」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年月日	会 議 ・ 行 事 名	藤 山	杉 村	佐 藤	小 鹿	平 沼	木 村	熊 野	平 野	清 部
7/19	総務教育常任委員会（熱中症対策）	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
19	第2青函トンネル構想を実現する会総会	—	○	○	○	○	—	—	—	○
20	渡島西部四町議会議員協議会スポーツ大会	○	○	○	—	○	○	○	○	○
29	定例監査意見書手交	—	—	—	—	—	—	—	—	○
8/5	第2回議会基本条例諮問会議	—	—	—	—	○	—	—	○	○
5	総務教育常任委員会意見書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
6	九重部屋力士激励会	○	○	○	○	○	—	—	○	○
7-8	友好市町首長・議長相互交流	—	—	—	—	—	—	—	○	○
9	白符町内会館上棟式	○	—	○	○	—	○	○	○	—
9	道南林活現地研修会	○	—	○	○	—	—	○	—	—
13	二十歳を祝う会	○	○	○	○	○	—	○	—	○
19-20	全道議会広報研修会	○	—	○	—	×	○	○	○	○
21	総務教育常任委員会（脱炭素）	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
21	経済福祉常任委員会（吉岡温泉排煙等対策）	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
22	渡島・檜山議長連絡会議	—	—	—	—	—	—	—	—	○
25	函館駐屯地記念事業	—	—	—	—	—	—	—	—	○
29	経済福祉常任委員会（指定管理施設、アワビ）	—	—	○	○	○	—	◎	○	○
31	福島商業高等学校オープンキャンパス	○	—	—	○	—	○	—	○	○
9/4	経済福祉常任委員会意見書手交	—	—	○	—	—	—	—	○	○
4	総務教育常任委員会意見書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
6	渡島西部広域事務組合第2回定例会	—	—	○	—	—	○	—	—	○
7	健康フェスティバル	—	—	—	—	—	—	—	—	○
10	一般質問通告日	○	—	—	—	—	○	○	—	職
10	議会運営委員会（9月会議の運営）	○	—	○	—	○	○	○	職	職
12	経済福祉常任委員会意見書手交	—	—	○	—	—	—	—	○	○
13	総務教育常任委員会（意見書）	○	○	—	—	—	×	○	○	○
13	議員勉強会	○	—	○	○	○	—	○	○	○
18	定例会9月会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	決算審査特別委員会（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	決算審査特別委員会（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○

年月日	会 議 ・ 行 事 名	藤 山	杉 村	佐 藤	小 鹿	平 沼	木 村	熊 野	平 野	溝 部
20	定例会9月会議（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	議会運営委員会（9月会議の反省）	○	—	○	—	○	○	○	職	職
21	敬老会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	福島幼稚園運動会	○	—	—	—	—	—	—	—	○
22	FOOD STADIUM2024	○	○	○	—	—	○	—	—	○
25	秋の交通安全運動町民大会	—	—	—	—	○	—	○	—	○
27	森林基幹道島前線開通セレモニー	—	—	—	—	—	—	—	—	○
10/4	総務教育常任委員会（奨学金、タブレット）	○	○	◎	◎	—	○	○	○	○
7	第3回議会基本条例諮問会議	—	—	—	—	○	—	—	○	○
8	渡島西部四署消防総合訓練	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	渡島・檜山管内市町議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	経済福祉常任委員会（社協、ごみ）	—	—	○	○	○	—	◎	○	○
12	新生松前町発足70周年記念式典	—	—	—	—	—	—	—	—	○
16-18	渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修	—	—	—	—	○	○	○	—	○
17	第4回福島中学校芸術祭	○	—	—	○	—	—	—	—	—
22	松前神楽重要無形民俗文化財指定記念公演	—	—	—	—	—	—	—	—	○
24	総務教育常任委員会（行政評価）	○	○	◎	—	—	○	○	○	○
24	経済福祉常任委員会（行政評価）	—	—	○	○	○	—	◎	○	○
26	吉岡小学校学習発表会	—	—	—	○	○	—	—	—	○
28	総務教育常任委員会（第6次総合計画変更）	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	×
28	経済福祉常任委員会（第6次総合計画変更）	◎	—	○	○	○	—	◎	○	○
28	共和町議会視察受入	—	—	—	—	—	—	—	—	○
29	総務教育常任委員会意見書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
29	経済福祉常任委員会意見書手交	—	—	○	—	—	—	—	○	○
29	宮崎県串間市議会視察受入	—	—	—	—	○	—	—	○	○
30	第2回渡島廃棄物広域連合定例会	—	—	—	—	○	—	—	○	—
30	議会基本条例諮問会議答申書手交	—	—	—	—	—	—	—	—	○
31	第2青函トンネル構想講演会（青森市）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11/8	経済福祉常任委員会（町内視察、執行方針）	—	—	○	○	○	◎	◎	○	○
10	第42回南北海道駅伝競走大会	○	—	—	—	—	—	○	—	○
12-14	町村議会議長全国大会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
15	議会運営委員会（議会だより）	○	—	○	—	○	○	○	職	職
15	長崎県小値賀町議会視察受入	—	—	—	—	—	—	—	○	○

11 福島町議会だより

議会による 行政評価

詳しい資料
は議会HP



町では、「まちづくり基本条例」に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和5年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、「議会基本条例」に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「議会行政事務事業評価要綱」を定め、各事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化し、翌年度予算へ反映させることとしています。

議会の行政評価結果の概要

10月24日に総務教育常任委員会、経済福祉常任委員会で議員提出の全67事務事業評価を調整し、議会評価を決定、町へ手

交しました。各委員会別の評価結果は次のとおりです。

◎→十分評価できる ○→概ね評価できる
△→やや不足している ▲→不足している

	◎	○	△	▲	計
総務教育	1	38	0	0	39
経済福祉	1	25	2	0	28
計	2	63	2	0	67

来年度の評価に向けて (両委員会共通)

評価は、項目別点数による現状把握が基本であり、一・二次評価で安易に評価をあげるべきではなく、改善策を対策として示す評価方式であり、現在の予算重視の評価方法では、適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした事業重視の評価方法に変更する等、評価方法全般の改善を検討されたい。

施設関連事業（製氷貯氷施設、吉岡温泉、岩部クルーズ等）については、指定管理制度による運営や管理運営費のみであっても行政評価の対象にすべきと思慮するので、評価項目全般の見直しについても検討されたい。

シート記載文の誤りがあり、起案・決裁における確認・校正を徹底されたい。

活動指標・成果指標における数値については、要因を加味し検討されたい。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
1	情報公開	議会だより発行など	A	◎	引き続き更なる工夫を期待する。
2	職員研修	研修計画に基づき職員研修を実施	A	○	知識・接遇・専門的研修等の質的向上と関係機関への研修参加を検討願いたい。
3	車輛管理	公用車両の適正管理	A	○	引き続き各車両の適切な管理と運用を進め、事故防止の指導徹底に努められたい。
4	交通安全対策	町民へ交通安全啓発	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、啓発の工夫を図られたい。
5	町民運動対策 (青少年等)	青少年問題協議会の開催など	A	○	犯罪・非行防止のための情報発信に努められたい。
6	インターネット事業	役場内外のインターネット環境維持保全	A	○	引き続きインターネット利用拡大の取り組みを期待する。
7	ホームページ管理	ホームページを運用し行政情報を発信	A	○	基本的事項や行政情報を日々発信する等抜本的な対策を図られたい。
8	生活館等管理	町内会館の適正な維持管理	A	○	公共施設維持保全計画基本方針に基づく維持管理・有効活用を期待する。
9	災害対策	防災機器整備など	A	○	戸別受信機の良い利用のため継続的なメンテナンスが必要。
10	町内会連合会助成	同連合会の活動支援	A	○	住民参加を目指した住民活動の統一的な組織展開を検討されたい。
11	文書広報	町広報誌の発行	A	○	今後も分かりやすい広報誌発行と、ちらし集約化の検討を。
12	ふるさと応援基金運営	ふるさと納税募集と、寄付者への返礼品贈呈	A	○	ふるさと納税寄付者の取り込みを更に進められたい。
13	産業活性化サポート事業	地場産品を活用した新商品開発への助成など	A	○	新商品開発のため、関係機関等の活用についても支援されたい。
14	町民運動対策 (コミュニティ)	町内会連合会へ助成	A	○	全町的な運動展開を期待する。
15	バス待合所管理	バス待合所の維持管理	A	○	今後も利用者にとって快適な施設の維持管理を期待する。
16	戦没者追悼式事業	追悼式典の実施	A	○	全町民を参加対象とした新たな展開を期待する。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
17	社会福祉	社会福祉団体への支援	A	○	社協の財政健全化に向けた自助努力を進め、適切な業務執行を願いたい。
18	高齢者行事	敬老会の開催	A	○	参加者減の要因を分析し、行事内容、参加方法を検討されたい。
19	在宅福祉事業	老人クラブ連合会への支援	A	○	老人クラブの活発な活動を期待する。
20	吉岡総合センター管理運営	同センターの維持管理	A	○	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
21	学童保育	授業終了後の学童保育	A	○	保育体制を確保し、教育委員会と連携した特色ある運営を期待する。
22	ごみ減量化対策	生ごみの自家処理機購入に対する助成	B	△	排出量は増加傾向にあり、生活様式の改善を徹底指導する検討を。
23	保育所	認定こども園福島保育所の運営	A	○	町の宝である子供たちを町ぐるみで育てていく取組の工夫を。
24	社会福祉総務	寝たきり老人等在宅介護手当の支給など	A	○	現在の社会状況を考慮し、手当額の増額を検討願いたい。
25	重度心身障がい者等タクシー料金助成事業	通院するためのタクシー料金を一部助成	A	○	利用率低迷の要因を分析し、適切に執行されたい。
26	老人福祉	希望者へ緊急通報システム機器を設置	B	○	必要性は理解するが、他の福祉事業との統合を検討しては。
27	健康づくり推進	健康フェスティバルの開催等による町民の健康増進	A	○	健康意識の醸成を促す活動に力点を置かれたい。
28	医療対策 (保健衛生総務)	保健師等に対して修学資金貸付など	A	○	毎年度貸付実績がない。要因を分析し、対応を検討すべき。
29	医療対策 (医療対策)	日曜当番医制による町民健康保持など	A	○	広域的な取り組みを進められたい。
30	老人保健	リハビリ教室などの実施	A	○	町立診療所と連携した在宅リハビリを充実させなければならない。
31	多面的機能支払交付金事業	地域活動組織への活動経費交付	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
32	活性化センター管理運営	同施設(あづま～る)の維持管理	A	○	地域文化の活動拠点としての活用と、町内外への情報発信を期待する。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
33	熊等による被害対策	有害鳥獣の被害防止と危険個所の巡回	A	○	有害鳥獣処理施設の運用、受け入れ態勢等広域を含めた有効活用を検討されたい。
34	利子補給事業	漁業者の貸付に対する利子補給	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進められたい。
35	水産加工振興協議会補助	同協議会の運営補助	A	○	原料不足が深刻。基幹産業を支援する要請活動を強力に進めるべきと考える。
36	水産多面的機能発揮対策事業	水産業多面的機能を発揮させる活動組織支援	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を期待する。
37	漁村環境改善総合センター運営	福島・吉岡にある同施設の管理運営	B	△	福島については、現状維持に努め、吉岡施設は早急に解体すべき。
38	労働者支援	職業紹介等の労働支援	A	○	効果的な事業の改善、新規事業の工夫を期待する。
39	観光振興	プロモーションやイベントでのPR事業など	A	○	関係機関との役割分担、協力体制を確認すべきと思慮する。
40	横綱記念館管理運営	同施設の管理運営	A	○	貴重な資料を無駄にすることなく両横綱の偉業を顕彰していただきたい。
41	特産品センター管理	道の駅内にある同センターの管理運営	B	○	道の駅としての評価が低い。内容充実を図るための再検討が必要。
42	青函トンネル記念館管理運営	同施設の管理運営	A	○	第2青函トンネル構想の情報発信不足。積極的に取り組む姿勢が必要。
43	街灯料助成事業	街路灯設置及び街灯料の助成	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。
44	教育関係団体・大会参加助成	同団体や児童生徒の大会参加費用の助成	A	○	物価高騰の影響等も十分把握し、助成事務を執行されたい。
45	高校魅力化推進事業	入学時の奨励金や検定受験等の助成ほか	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
46	青少年交流センター整備事業	同センターの整備	A	○	適切な生活指導と施設管理を望む。町・小・中学生等イベントによる町民との交流を推進されたい。
47	友好市町交流事業	長野県木曾町、長崎県松浦市との学生交流	A	○	三市町交流事業を推進すると共に、新たな地域との交流の展開を期待する。
48	A L T 招致	英語指導助手 2 名招致	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
49	児童生徒輸送	児童生徒の通学・行事・大会参加等への輸送	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
50	奨学資金貸付	経済的理由で就学困難な学生へ奨学資金貸付	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
51	教育用コンピュータ等整備事業	児童生徒へのタブレット等の整備など	A	○	タブレット等の更なる有効活用を図られたい。
52	教員住宅管理	教員の生活拠点となる住環境の整備・管理	A	○	引き続き計画的な管理を進められたい。
53	小学校管理	小学校の適正な管理運営など	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化に努められたい。
54	中学校管理	中学校の適正な管理運営など	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化に努められたい。
55	学校給食センター	児童・生徒への学校給食の充実	A	○	米等の地元食材の活用拡大に更なる努力を求める。
56	社会教育総務	社会教育委員会議、スポーツ、講座など	A	○	社会教育の現状を把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
57	読書活動	福祉センター内図書室の運営	A	○	今後も図書管理システムの有効活用と図書司書の配置を期待する。
58	成人教育	各種講座の開催など	A	○	今後も住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
59	青年教育	成人式の開催など	A	○	式典の在り方の検討を進め、青年教育の新たな展開を期待する。
60	少年教育	青少年主張大会、学生対象の講座開催など	A	○	新しい事業も取り入れているが、更に積極的な展開を期待する。
61	芸術・文化	芸術鑑賞事業、町民文化祭主催の文化団体協議会へ助成	A	○	新たな展開を期待する。
62	文化財保護	歴史講座開催、埋蔵文化財の保存と啓蒙など	A	○	学芸員を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
63	保健体育総務	各種社会体育事業の開催など	A	○	指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
64	総合体育館運営	同施設の維持管理	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。

番号	事務事業	内 容	町評価	議会評価	議会評価
					説 明
65	町民プール運営	同施設の維持管理	A	○	適切な管理、有効活用を進められたい。
66	ファミリースポーツ公園管理	同施設の維持管理	A	○	児童生徒等の利用を促進する事業等、利用拡大を検討されたい。
67	福祉センター運営	同施設の維持管理運営	A	○	施設の適切な維持管理に努められたい。

文書質問

質問事項：水道管未設置の状況について
質問者：藤山 大 議員

水道は、飲料水等必要なライフラインであり、町民の日常生活に欠くことのできない重要なインフラ施設です。

しかし、現在、井戸を使っているという理由で、水道管が通っていない箇所があります。本来、水道管は住民の暮らしている場所すべてに通すべきであり通っていない場所があるのはおかしいと思いつの点について伺います。

1. 水道を使用せず、**井戸水等を使用している状況**を把握しているか。
2. **水道管未設置箇所への設置計画**は。
3. **設置の際の助成**を考えているか。

公営企業会計は独立採算制が基本とされ、受益者からの収入により設備投資にかかった費用を回収しながら運営するものとされており、水道管を布設した当時、水道利用の意向調査を実施しておりますが、井戸利用などによる水道利用の意向が無い区間については水道管の必要性が無いことや収益が見込めない事から水道管布設は行っておりません。

1. **井戸のみ**を使用している**世帯は60件程度**ととらえております。
2. 設置計画については、平成30年度認可変更計画においても**新たな水道管設置については考えておりません**。
3. 助成については、上記と同じ理由や、**既設の加入者との均衡の観点からも考えておりません**。



町長からの回答



調査事件 2

熱中症対策

— 7月19日調査 —

地域にあった指針で対応を万全に

町民へ熱中症対応の意識づけを

町民個々の熱中症対応への意識付けが重要です。特に高齢者は気づかぬうちに熱中症に罹り、亡くなる場合もあるため、対応策等を周知する必要があると考えるので検討されたい。

学校での熱中症対策

学校での熱中症対策は北海道教育委員会の「危機管理マニュアル【熱中症】」に基づき「暑さ指数」や環境省の「熱中症警戒アラート」を判断材料として対応していますが、平均温度が低い当町が本州方面と同じ指針で対応するのは適切ではなく実態を十分把握し、より低い数値での対応を検討されたい。

町公共施設への冷房設備導入

災害時の避難場所等への設置も必要であり、クーリングシェルターの役割も兼ね、指揮系統の中核となる役場庁舎への冷房設備設置は優先度が高いと考えるので検討されたい。

※クーリングシェルター：極端に気温が高い時に暑さを避けるための場所。自治体が指定した公共施設や民間施設の冷房が効いた部屋。

調査事件 3

脱炭素社会戦略計画の策定

— 8月21日調査 —

積極的な知識習得と情報発信を

計画策定の基本姿勢

令和7年1月末までに計画を策定するとしているが、第一段階の目標となる46%削減の元となる当町の基礎数値が把握されていない。計画達成には全町的な取り組みが必要であり、新しい計画は町民にとって理解しづらいと思われるので、配布・説明資料をわかりやすく工夫し、積極的な情報発信に努められたい。

職員の知識習得

国の脱炭素戦略について担当委員（職員）が十分知識を身に付けて臨んだとは言い難く、町の実情に合った計画づくりには職員が主体的に委託事業者との共同作業に臨み、計画内容を調整する必要があると、職員の知識習得と、意識の共有が重要になると考えます。知識習得に向けた積極的な取り組みを望む。

※指名型プロポーザル：特定の業者に提案（計画案や方法）を依頼し、価格だけではなく、内容や技術を総合的に評価して選ぶ方式。



調査事件 9

奨学金制度の見直し

— 10月4日調査 —

時代にあった制度の見直しが必要

貸付限度額と償還期間について

町奨学金の貸付限度額の上限を上げることはその後の返済を考えると容易に行うべきではないとの考えは理解するが、時代にあった金額について議論する事は必要であり、償還期間を延長するなど返済月額を抑える配慮も必要と思慮するので検討されたい。奨学金の見直しと併せて、地域の移住・定住対策として奨学金の返済支援について、当町も議論していく必要があると思慮する。

保証人について

保証人として親族と親族以外の2名が必要とされているが、民間では保証会社を活用した事例も増えてきており、親族1名の保証人で十分であると思慮するので検討されたい。

調査事件10

小中学校における学習用タブレット 端末の利活用実績等

— 10月4日調査 —

ICT機器とアナログの共存。教員への研修強化を

学習支援アプリについて

授業において使用している学習支援アプリについては、有効活用され、更新するか検討中とのことであり、適宜適切なアプリ導入等については理解する。

ICT機器やアプリは日々進化しており、教員がそれを最大限活用するためにも外部ICT支援員等による指導・研修等に努められたい。

アナログ対応について

ICT機器の使用は、現在の教育において必要不可欠だが、従来の本を読む、紙に文字を書くといったことも教育には重要な基本的視点であり、ICT機器の活用と並行してアナログの良さを残す取り組みに努められたい。

更新予算等について

物価高騰等を理由に予算を補正する事例が多くみられることから機器選定にあたっては価格等の把握を慎重に行い予算計上するよう指摘する。



調査事件 3

吉岡温泉の排煙等対応

— 8月21日調査 —

積極的な情報発信と説明を

防音壁の費用対効果

仮設の防音壁で騒音を抑える効果が確認されているものの、完全な遮音は難しく、地域住民の不安が解消されるか疑問が残る。

また、防音壁の設置予算が1千万円と高額であり、費用を抑えた工法等を検討する余地もなく進められることに不安を感じる。

煙・臭い対策の効果説明

煙・臭い対策として、油煙・煤塵除去装置と排気希釈装置を新たに設置するとしていますが、臭いを完全に除去することはできないとの説明であり、防音壁と同じく近隣住民の負担が解消されるか疑問である。

適切な木質チップの使用

今回の問題（煙・臭い）については、当初投入した燃料（木質チップ）の含水率が高い事等が原因です。これは、その後使用している安定した含水率の木質チップによる運転の状況から明らかであり、その点は反省されたい。

住民への説明

当初計画・設計の段階から、「騒音・煙・臭い」対策を念頭に置いて慎重に臨まなかったことが問題であり、結果として地域住民に迷惑をかけ我慢を強い、高額な予算補正となったことを大いに反省されたい。

地域住民に長期間我慢を強いているため、対応策の内容等について積極的に情報提供し、説明することで理解を求められたい。

議会対応

厳しい財政の中では「最少の経費で最大の効果」を念頭に計画を進めることが基本ですが、煙突、機械室の防音壁、外部防音壁等について、コスト軽減の可能性がありながら、計画変更周知の遅れで議論の余地も無く進められることを懸念する。





調査事件 1

指定管理事業の現状と展望

— 8月29日調査 —

指定管理者と適正な指定管理委託料に向けた協議を

吉岡温泉の指定管理

吉岡温泉の指定管理委託料については、予算額と決算額の乖離が大きくなならないよう、状況変化に応じて適宜、協議調整するべきと思慮する。

岩部クルーズ運航等の指定管理

岩部クルーズ運航については、指定管理者の努力により収入が大きく増えてきているが、自主努力分の支出でインセンティブとなる決算利益が少ない状況を憂慮するので、状況に応じて適宜協議し調整するべきと思慮する。

製氷貯氷施設の指定管理

製氷貯氷施設の管理運営については、損益上の利益が確保されているものの、物価高騰の影響から決算利益が減少している。漁業者の利用に配慮し、氷の価格10千円/tと低価格に抑えてきたことは理解するが、若干でも単価を増額すべきと思慮する。

調査事件 2

アワビ陸上養殖事業の進捗状況

— 8月29日調査 —

事業化の課題を明確にし、目標達成に向け不断の努力を

栽培公社、民間企業とのつながり

栽培公社のアワビ種苗が提供できる状態となった場合でも、岩手県の民間企業との交流を続け、より低価格で購入できるよう交渉を続けていく必要があると思慮する。

斃死の原因究明と対策

民間企業からの種苗が大量斃死した原因を究明し、購入企業等と十分情報を共有し、適切な対策を講じるよう望む。

生育状況の把握と今後の計画

企業のノウハウを取得・実施したことで、生育状況が改善し出荷時期が早まる見通しとなっているが、供給時の斃死や成長不良稚貝等、生産から販売にかけての課題も多く今後計画を見直す際はより慎重に検討するよう望む。



調査事件 7

社会福祉協議会の運営状況

— 10月11日調査 —

介護事業を含めた運営の健全化を

経営状況について

令和5年度決算状況は、3事業すべて黒字となっており、経営改善が図られているとのことだが、要因は職員の退職による人件費の減少によるものであり、昨年と変わらず根本的な経営健全化にはなっていない点を指摘する。

町の今後の支援の在り方

社会福祉協議会は、町に必要な組織であり、町の支援だけでは健全化は望めず社協全員で努力する必要がある。社協の運営を法人と介護事業に分けて考えるという町の考え方については、自主性・自律性を十分自覚して会費・受託事業収益等と合わせて「介護事業収益」を組み込み持続可能な法人運営に努めることが基本原則であることから、介護事業を除いて健全化を進めることは現実的ではなく、全体をみて健全化を進める必要がある。

町内の介護事業を維持するため、町が調整役となり民間・社協の役割分担を進めるなど協議の場を持ち、事業の効率化・協働化を検討する必要があると思慮する。

調査事件 8

ごみ減量化対策の進捗状況

— 10月11日調査 —

積極的な情報発信と普及啓発活動の徹底を

電動生ごみ処理機のPRについて

電動生ごみ処理機について、前回の委員会で普及方法を検討されるよう指摘したが、その後広報等でPRをしておらず、普及啓発活動の動きが遅い点については反省されたい。

購入済の2台のデモ機を有効に活用し、普及活動を早急に推進するとともに、購入方法等や補助要件等を町広報、HPで周知徹底し、商工会と町内での販売窓口を検討されたい。

ごみの減量化に関心をもたせるためにも、町広報等に専用ページを作ることも検討されたい。

町単独での減量化対策の推進

四町で足並みが揃うのを待つことなく、町がモデル的に先行してごみ減量化対策を推進することも必要と思われる。

総務教育所管分

現状の課題解消に向けた検討を

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における津波避難緊急事業

避難行動を取るためには情報伝達が重要だが、町内には依然として防災無線が入りづらい地域があることから、新たな方法による情報発信について計画に盛り込むことを検討されたい。

避難経路の選定や整備・維持管理・避難先高台の整備など、常時管理は人的・財政的にも負担は容易でないため、既存の施設（林道）の活用や、林道の新設整備なども課題解決に有効であると思慮するので検討されたい。

町有財産管理事業

生活改善センター解体後の跡地利用として災害時の避難場所等として利用を検討している点は同意する。

具体的な検討の際は、新たな防災施設の建設ではなく、非常用物資を保管するコンテナ等を配置した小公園など地域住民が日常利用できる場として整備することも検討されたい。

経済福祉所管分

屋外展示物の適切な保存を

青函トンネル記念館等屋外展示物撤去事業

青函トンネル記念館等の屋外展示物について、計画を見直し、撤去から保存する選択をしたことについては賛同する。

保存に必要な資金をクラウドファンディングで集めてはとの北大からの提案については、必ず集まる補償がない中で、展示物の状態等を考慮すると早急な対処が必要と思われるので、まずは北大と保存方法等を協議し、町が主体となって保存・維持の方向性を示すべきであると指摘する。

高齢者等冬の生活支援事業

冬の生活支援事業の助成金については、物価高騰の状況がさらに続くことが予測される状況で、これまでと同様の金額では十分な支援にはならないことが懸念されることから、早急に見直す必要があると思われるので検討されたい。

研修レポート

議会広報研修会

【町民に読まれる議会報の企画と編集】

議会広報研修会が令和6年8月20日(火)札幌市で開催され、当町から6名の議員が参加しました。



講演「読者に読まれる議会報の企画と編集」

講師 (一社)自治体広報広聴研究所

代表理事・広報アドバイザー

金井茂樹氏

- 議会広報広聴活動の重要性
- 議会の課題と編集方針
- 議会広報クリニック など

渡島・檜山管内市町議会議員研修会

今年度の管内研修会は、10月10日(木)北斗市で開催され、当町から議員9名が参加しました。



講演1

「人工知能(AI)の社会的影響と教育」

講師 公立ほこだて未来大学

システム情報科学部

教授 美馬のゆり氏

講演2

「北海道の農業の課題と展望」

講師 北海道農政部

次長 大浦正和氏

渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修

渡島西部四町議会議員連絡協議会で10月16日～18日秋田県藤里町・東成瀬村へ視察研修に赴きました。当町から4名の議員が参加しました。

【令和6年10月16日】

秋田県藤里町社会福祉協議会
・社会福祉協議会の取り組みについて

講師 藤里町社会福祉協議会
会長 菊池まゆみ氏

○「藤里方式」と呼ばれる活躍支援事業内容等の説明を受けました。



研修を受ける議員



東成瀬村議会議場にて

【令和6年10月17日】

秋田県東成瀬村地域づくり協同組合
・地域づくり協同組合について

講師 地域づくり協同組合
代表理事 緒方新一氏

○地域づくり協同組合の現状について説明を受けました。

議会諮問会議より答申

議会基本条例諮問会議が10月7日に行われ、令和6年度の諮問に対する答申を纏め、10月30日議長に手交されました。

1. 調査審議を求める事項

●議会評価（令和5年度分）の検討

議会運営委員会の評価は適正であると考えている。議会評価の仕組みや専門用語などが多様され、理解されていない部分が多いと思われることから、わかりやすい表現で町民へ伝えるよう望む。

●次期改選期に向けた議会体制の見直し等

次期改選期に向けた見直し事項の内容については理解した。今回出された委員の意見にも留意して議論を進められたい。

- 議員定数
- 議員歳費・議会の環境
- 議員のなり手対策
- 議員改革の見直し

2. 確認を求める事項

●議会基本条例見直しに伴う行動計画（令和5年度分）

適正に行われていると認める。

●常任委員会所管事務調査の内容確認

「福島商業高等学校の魅力化」「町立診療所の経営安定化」の2件について確認した。



極壇会長から溝部議長へ答申書手交

あなたの力が 必要です！

議員
定数

10人



月額
歳費

21万6,000円～

議長 32万1,000円
副議長 25万7,000円
委員長 23万3,000円

年2回の期末手当あり（参考：R5役職なし）

6月 47万3,110円

12月 57万1,320円

「立候補」への必須要件

要件
1

投票日に

満25歳以上で

福島町議会の選挙権がある

要件
2

供託金として

15万円を用意できる

※売名行為など無責任な立候補を防ぐために
一時的に法務局に預けるお金。
一定の得票数があれば選挙後に返してもらえる。

$(\text{有効投票総数} \div \text{議員定数}) \times \frac{1}{10}$

例： $(2,595人 \div 10) \times \frac{1}{10} = 25.95人$

※令和元年の有効投票総数です。

3年後の の 立候補者へ

電子化が進んでいます

1人1台タブレットを貸与

連絡、資料の閲覧、インターネットでの情報収集、現場の写真撮影など様々な活用ができます。

家庭生活との両立

会議の欠席理由は公務、ケガや病気の他、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助も含まれています。

選挙費用の一部は公費で負担

- ・選挙カーの借り入れ
- ・燃料代
- ・選挙ポスターの作成など

研修制度

新人議員向けの研修はもちろん、様々な研修に参加し、知識を深めることができます。

政務活動費 月額1万円

議員活動に活用する資金として支給しています。(資料購入、視察交通費など)

「議員って特別な人になるんでしょ？」

「特別な知識なんてないし、自分にはできないよ」

そんな声もよく耳にします。確かに知識は武器になります。

でも、議員に一番必要なのは**“気もち”**です。

- ・町を変えたい
- ・このままじゃダメだと思う
- ・自分たちの年代や働く人の声を町政にぶつきたい
- ・人のためにやりがいのある仕事がしたい
- ・自分の経験や技術を活かしたい などなど

一つでも当てはまるものはありませんか？

議員は特別な人ではなく、

代表として選ばれただけの

同じ町に暮らす町民です。

新たな担い手を後押しするため

議会改革を検討中です

令和8年9月までの決定を目標に、検討を進めています。状況は随時お知らせします。

町民の声

「福島の温かさを感じて」



福島商業高校教諭
岩上 公作

小学六年から中学卒業まで、福島町で過ごしました。多感な時期でしたが、転校して来たばかりの私を、地域の方々が温かく受け入れてくれ、充実した日々を過ごすことができました。この四年間のおかげで、今の自分があると、言っても過言ではありません。

現在勤務している福島商業高校では、町外出身の生徒が多く在籍しております。当時の私同様、地元の生徒と和やかな雰囲気の中、日々勉学に励んでいます。福島に来て良かった、福島商業に入学して良かったと一人でも多くの生徒に思ってもらえるよう、そして生徒が持っている力を少しでも伸ばす手伝いができるよう、これからも教職に励んでいきたいと思っております。

議員の雑感

「議会だより広報に寄せて」



議会運営委員会
委員長 平沼 昌平

今年も自然現象の猛威を感じた年になった。年の初めの能登半島地震、線状降水帯発生による全国的な大雨被害、土砂災害や暴風や竜巻による被害も発生した。

また、夏の猛暑による熱中症関連の被害も発生した。

災害要素はこれからも多く日本海溝・千島海溝そして南海トラフ等の巨大地震も想定される。日本海と太平洋に挟まれた我が国は天候に古くから一喜一憂してきた。恵みも多い分だけ災害も多い。特に近頃は後者の方が多く規模も甚大である。試練である。

我々議会としても将来の福島町の在り方や安心安全な生活のため、町民の理解を得る町を創る事、行政に提案できる議員や、新人議員の成り手を考えねばならない。試練に備えて、町民と共に頑張ります。

主な会議・行事予定

12月

● 一般質問通告日

10日(火) 午前10時～午後2時
議会事務局

● 議会運営委員会

(12月会議の運営)
10日(火) 午後3時～
委員会室

● 議員勉強会

13日(金) 午後1時30分～
議員控室

● 定例会12月会議

17日(火)～19日(木)
午前10時～
議会議場

● 御用納め

30日(月)

1月

● 御用始め

6日(月)

● 議会運営委員会(議会だより)

21日(火) 午後1時30分～
議員控室

● 四町議員協議会理事會

22日(水) 午前10時30分～
議員控室

編集後記

すっかり朝晩の寒さが厳しくなってきましたね。

今年もあと1カ月。振り返ってみると、元旦早々能登半島で大きな地震が発生し、異常気象による大雨。さらに連日の猛暑、信じられないくらいの暑さが続きました。

大きな災害は発生しませんでした。ですが、いつ発生しても対応できるような常日頃から防災意識をもつて生活していかなければと思った年でもありました。

もうすぐ冬が到来。

お体には十分気を付けて温かくお過ごしください。

2月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会12月会議を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」